

## 入試問題会保護者会場解説 4 教科担当者より (抜粋)

### 【国語 P1・P23~26】

- 1 ページ目訂正 **その他**【読解問題 (一) (二)】  
文末の・・・不十分な表現内容→減点扱い  
指定字数に満たない解答・指定字数を超えた解答→0 点扱い
- 問題構成**  
一般入試・・・これまでと変更なし  
帰国入試・・・内容は変わらないが、今年度は漢字を最初に出題する。
- 入試のアドバイス
  - ・出題は易しい問題から難しい問題の順ではない。出来る問題から取り組む
  - ・本文から読むのではなく、先に問題を確認してから本文を読むことをすすめる。

### 【算数 P2・P10~14】

- 問題構成**  
どの問題も 5 点。難易度で配点は変わらない。1 問でも多く解くことが大事になる。
- その他**  
答えだけの問題と途中式を書かせる問題がある。  
途中式を書かせる問題の採点方法
  - ①答えだけの記入でも正解となる。
  - ②途中式が書いてあるが解答が間違い→部分点あり
  - ③途中式が書いてあるが解答が未記入→部分点あり  
(答えが出なくても途中式は消さずに残しておくが良い。)
- 入試へのアドバイス
  - ・各回とも必ずグラフの問題を出題する。しっかり準備をしておくこと。
  - ・最初にすべての問題に目を通して解けそうな問題を確認することが大切。

### 【社会 P2、3・P15~19】

- 問題構成**  
歴史・地理・公民・仲間外れ問題・総合問題  
総合問題は配点を高めに設定。考える力、表現する力をみる意図がある。
- 入試へのアドバイス
  - ・学校の教科書と資料集をしっかりと確認することをすすめる。
  - ・時事問題は最近のニュースなので教科書ではカバーしきれない。1 年間のニュースなどをチェックしよう。
  - ・総合問題はみんなが知らないテーマにするようにしている。受験生みんなが知らないと思って落ちて文章を読んでみよう。
  - ・白紙にはせず、諦めずに解答を埋めよう。

### 【理科 P3・P20~22】

- 問題構成・配点**
  - ・4つの分野 (物理・化学・生物・地学) からほぼ同じ割合で出題
  - ・前から順番に難しくなっていくわけではないが、各大問の中身は 1 問目から順に難しくなっていく。
- 傾向  
実験・観察を踏まえた問題を多く出題。小学校で使用する実験器具の扱い、観察道具の扱いもポイント
- 入試へのアドバイス
  - ・問題文の中に解答のヒントがあることもある。文章をしっかりと読もう。
  - ・グラフを書く場合、定規は使えないが多少曲がっていてもポイントが合っていれば正解となる。
  - ・漢字が書けない場合はひらがなで書きましょう。漢字の間違いで意味が変わってしまうと不正解になる場合もある。